

第7回さようなら原発1000人集会

破たんした原発政策

福島原発事故は、未だ収束のめどが立たず汚染は広がっています。政府は7月に放射性廃棄物の最終処分候補地マップを発表しましたが、「核のゴミ」の最終処分に何ら展望はありません。立地対策費、使用済み燃料の処分費用、事故時の膨大な賠償、廃炉費用などを考えると、経済的にも原発が「割に合わない」ことは明らかです。

原発政策は破たんしています。私たちは、被災者一人ひとりの暮らしを支える政策を求め、原発のない持続可能な社会の実現をめざします。

2017年10月29日(日曜日)

午後1時30分開演(1時開場)

いたみホール

参加費

1000円(前売り800円)

震災避難者・障がい者、半額
35才以下、無料

「福島への祈り」

神田 香織さん

講演者

「やはり原発は割に合わない」

大島 堅一さん

龍谷大学政策学部教授



報告

佐伯 昌和さん(福島原発刑事訴訟支援団関西支部事務局)

東山 幸弘さん(ふるさとを守る高浜・おおいの会代表)

二木 洋子さん(反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック)

主催 さようなら原発1000人集会実行委員会

連絡 北上 哲仁 090-3613-7069